

JA全農ウィークリー

4
6
面

各県新米が勢ぞろい
CM、キャンペーンでアピール(各県本部)

2面

卓球日本代表 石川佳純選手が



菅野幸雄会長が石川佳純選手に激励
の品を贈呈(2面)



JAタウンの「酪市酪座～うしさんからのおくりもの～」を担当する酪農部職員(3面)



各県本部がお米の消費拡大CMを放送(4-6面)



- 2 「飲んで応援! 岡山の日本酒de乾杯
キャンペーン」展開(岡山県本部)
- 3 JAタウンに「酪市酪座〜うしさんからの
おくりもの〜」オープン(酪農部)
オンライン夏フェス
「JA全農COUNTDOWN JAPAN
"HanaUtaFes"」開催(広報・調査部)
- 7 『JA全農ウィークリー』掲載記事
上半期アクセスランキング(広報・調査部)

- 8 高校生が米作りの腕を競う！
「お米甲子園」に特別協賛
(米穀生産集荷対策部)
- 「JA全農 COUNTDOWN
JAPAN」プレゼント(広報・調査部)
- JAタウンショップ紹介
- JA晴れの国岡山 星の郷特産館

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

News!



卓球日本代表 石川佳純選手が全農を訪問

国際大会出場に向けて決意述べる

広報・調査部



菅野会長が激励の品を贈呈



JAビルを訪れた全農所属 石川佳純選手

全農所属の卓球日本代表・石川佳純選手が10月8日、東京・大手町のJAビルを訪れ、11月から中国で再開される国際大会出場に向けて決意を語りました。

菅野幸雄経営管理委員会会長が「体調管理には十分気を付けて頑張ってください。おいしい食材はたっぷり提供します」と激励しました。石川選手は「半年ぶ

りの大会ですが、大会がなかった期間に充実した準備ができました。最高のプレーができるように頑張ります」と、約8カ月ぶりに再開される国際大会に向けて決意を述べました。

また、激励の品として菅野会長から愛媛県産の柑橘（かんきつ）を使用した飲むゼリー「愛媛の果実」や愛媛県産みかん・うわの赤箱「美柑王」の他、全農グループ直営焼き肉レストラン「びゅあ」のフリーパスポートを贈りました。石川選手は「焼き肉は大好きで、たくさん利用させていただいています。ありがとうございます」とお礼を述べました。

これから全農は「アスリートの活躍を『ニッポンの食』で支える」をスローガンに、石川選手をはじめとする海外で活躍するアスリートを応援します。

News!



「飲んで応援！ 岡山の日本酒de乾杯キャンペーン」展開

新たなファン獲得目指しSNSも活用

岡山県本部



新型コロナウイルスの影響によって日本酒の消費量が激減したことを受けて、岡山県酒造好適米協議会では、令和2年産酒造好適米の作付面積を約3割削減せざるを得ない状況となりました。酒米生産者で組織する同協議会は、県内の酒蔵から日本酒を購入し、プレゼントキャンペーンを展開することで、コロナ禍で苦しむ酒蔵を支援します。

岡山県本部は10月1日（日本酒の日）から、岡山県酒造好適米協議会と共催で、インスタグラムを活用した日本酒の消費拡大キャンペーンを展開しています。

新型コロナウイルスの影響によって日本酒の消費量が激減したことを受けて、岡山県酒造好適米協議会では、令和2年産酒造好適米の作付面積を約3割削減せざるを得ない状況となりました。酒米生産者で組織する同協議会は、県内の酒蔵から日本酒を購入し、プレゼントキャンペーンを展開することで、コロナ禍で苦しむ酒蔵を支援します。

同協議会のインスタグラムアカウント（@okayama_nichisei）をフォローして、条件を満たした画像を投稿した人の中から200人を対象に岡山県産酒米「雄町」や「山田錦」を使用した岡山の地酒をプレゼントします。はがきでの応募も受け付けていますので、ぜひご応募ください。

応募方法などの詳細は岡山県本部ホームページまたは岡山県酒造好適米協議会岡山の日本酒de乾杯キャンペーンページで確認ください。※20歳以上限定

キャンペーン
Instagramは
こちら



キャンペーン
サイトはこちら





JAタウンに「酪市酪座～うしさんからのおくりもの～」オープン

酪農への理解醸成も目指す

酪農部

酪農部は、全農が運営するECサイト「JAタウン」に「酪市酪座～うしさんからのおくりもの～」をオープンしました。

今年はコロナ禍での巣ごもり需要により家庭用バターの消費が急増、店頭では品薄状態が続いていました。一方、外出自粛で外食向けや土産菓子向けの業務用バターの需要は激減しました。この状況下で、過剰在庫となった業務用バターと消費者のバターニーズをマッチングさせるため、

そこで、今後は「酪市酪座」を通して、乳業会社と協力した乳製品の販売にチャレンジするとともに、酪農への理解醸成につながるシヨップづくりに取り組んでいきます。ぜひ「酪市酪座」のご利用をよろしくお願いいたします。



「酪市酪座」を担当する酪農部職員



おうちごはんでも好評だったバターセットをリニューアルして販売

News! オンライン夏フェス「JA全農COUNTDOWN JAPAN "HanaUtaFes"」開催

延べ約36万人が視聴

広報・調査部

全農はTOKYO FMと共同で、新型コロナウイルスの影響を受けた花の需要喚起をねらい、9月27日に「花をテーマに楽曲をつないでいくオンラインライブ「JA全農COUNTDOWN JAPAN "HanaUtaFes"」を配信し、延べ約36万人が視聴しました。

当日はJAタウンで取りそろえた4000本を超える花が会場を彩り、ASIAN KUNG-FU GENERATION、chay、さなり、安田レイの4組が花にまつわる曲を披露しました。出演アーティストからは「感激しました。花のパワーを感じながら歌いました」「花はいろんなパワーを秘めていて、気持ち

このライブは「あなたの代わりにお花がライブに参加」をコンセプトにしており、特設サイトで花を購入すると、アーティストと一緒にライブを彩った花が後日、自宅へ郵送される仕組みを設けました。皆さんもお花を贈って、あなたの代わりにお花に会いに行ってもらいませんか。



演奏するchayさん



インタビューに答える桑田専務

今年女優「のん」さんが 「米」役に!

「純情産地いわてのん」宣伝本部長が出演。のんさんは、自然の恩恵を受け、強くやさしく育った「米」役で登場です。「最後の一粒まで美味しい」をストレートに伝え、さらなる「いわて純情米」の認知率向上を目指します。YouTubeではTV CM・WEB CM・メイキング・インタビューを公開しています。

テレビCMは
こちら



「米」役となった純情産地いわて・のん
宣伝本部長

新CMのコンセプトは「これまでも、 これから秋田米」

イメージキャラクターには秋田県出身の女優・安田聖愛さんを起用。安田さんが演じる東京の女子大生“美代”が、秋田に住むおばあちゃん“信子”の家を訪れるというストーリーです。映画のような情景で描かれ、日本の米どころ秋田への郷愁が染み入るような仕上がりとなっています。特別キャンペーンサイトでは、Web限定ムービーもご覧いただけます。

併せて、秋田牛や秋田県産豚、比内地鶏さりとたんぼ鍋セットなど豪華な賞品が合計2000名様に当たる「秋田米新米キャンペーン」を実施しています。また、公式Instagramでインスタマガジン「#秋田農家ごはん」を創刊。フォローしてキャンペーン投稿を「いいね!」すると、「#秋田農家ごはん」で紹介している農家が育てる銘柄米が5名様(全投稿で合計70名様)に当たるキャンペーンも実施中です。

詳しくはこちら



15秒CM「ただいま、秋田」篇



今年のCMも サンドウィッチマンが登場

宮城県出身のサンドウィッチマンのお2人を起用し、バリエーション豊かな宮城米の魅力を流通関係者や消費者に訴求することで、販売先からの指名買いにつながることを狙いとしています。今までのCM同様、今年もお2人のキャラクター性と、知名度・好感度の高さにより、宮城米そのものを引き立てるCMに仕上がっています。

また、仙台牛などが当たる「みやぎの新米キャンペーン」を12月31日まで実施中です。



「みやぎは米なんです! 親子。ひとめぼれ。」篇



「今日はだて正夢なんです! 親子。」篇

CMはこちら
(うまにいちず
みやぎ米
ページ内)



キャンペーンの
詳細はこちら



栃木県
本部

3種類の“とちぎ米”をPR

「とちぎ米」の認知度向上を目的として、新TV-CM「コメ・コレクション」を関東広域圏（1都6県）で放送しました。昨年「とちぎのおこめ特別広報担当」に就任したタレントの佐藤美希さんが、「栃木県産コシヒカリ」「とちぎの星」の3種類それぞれのイメージに変身する、華やかなファッションショー仕様でとちぎ米をPRしました。



CMに出演する佐藤さんは栃木県出身

富山県
本部

木村文乃さん 富山弁で「富富富」をPR

デビュー3年目となる富山の新しいお米「富富富」。今年の猛暑を乗り越え、生産者が心を込めて育てた令和2年産が10月1日から販売が始まりました。今年のCMは、「愛されて、育ちました」篇と題し、昨年に引き続き、木村文乃さんが出演しています。木村さん演じる「愛されて育った」娘さんと、丹精込めて育てた「富富富」がリンクし、ちょっぴりホロリとする作品です。

CMはこちら



富山弁で農家の娘役を演じた木村文乃さん

石川県
本部

「ひやくまん穀」を食べて百満足に！キャンペーン

デビュー4年目となる「ひやくまん穀」。加賀・能登の豊かな自然と、加賀百万石の伝統が育んだ食の宝庫・石川県自慢のお米です。今年産の「ひやくまん穀」も生産者の思いが詰まったおいしいお米に仕上がりました。そんな「ひやくまん穀」を食べていただいた方に百満足な笑顔をお届けするため、「ひやくまん穀新米キャンペーン」を実施しています。抽選で100名様に石川県のブランド牛「能登牛」をプレゼントします。

「ひやくまん穀」
特設サイトは
こちら



ひやくまん穀ポスター

山形県
本部

「雪若丸」3年連続で田中圭さんがイメージキャラクターに

山形県のブランド米「雪若丸」の新CMが10月15日に発表されました。2018年の全国デビュー以来3年連続で、俳優の田中圭さんがイメージキャラクターを務めます。新CMは「俺は『雪若丸』が好き、粒立ちが好き」と話す田中さんに、おばあちゃんが「んだ」と相づちを打ってお互いに笑顔をこぼす、和やかな雰囲気。田中さんが口いっぱいに「雪若丸」を頬張り、食感の良さをアピールしています。

CMはこちら



田中圭さんが「雪若丸」を食べて笑顔を浮かべる新CM



CM発表会で「雪若丸」をPRする田中圭さん

新潟県
本部

稲垣啓太さんを起用した「新潟米」新CM

新潟県出身のラグビー選手・稲垣啓太さんを起用した新CMが完成しました。新CMは、米俵を肩に担いだ稲垣さんが黄金色の稲穂の中に羽織袴姿で堂々と仁王立ちし、「堂々、うまい。新潟米」と新潟米のおいしさを力強く伝えています。JA/JA全農にいがたは稲垣さんと共に「新潟米」のおいしさを全国の皆さまへお届けします。

特設サイトは
こちら



滋賀県
本部近江米のおいしさの理由を
テツandトモさんが紹介

滋賀県本部が会員を務める近江米振興協会では、新米発売開始に合わせ9月から約1カ月間、関西圏の主要放送局で15秒CMを放映しました。近江米のおいしい理由（なんでだろ〜）を理解してもらうために、今年も滋賀県ゆかりの芸人であるテツandトモさんに元気に歌いながら近江米の魅力をアピールしていただきました。

また、県内および京阪神地域の消費者に対し、農薬・化学肥料を通常の半分以下で栽培した「安全・安心とおいしさ」が特長である「環境こだわり米」の販売促進とブランドイメージの定着化を図ることを目的に、「待ってました！うまい！新米！近江米！環境こだわり米キャンペーン」を展開しています。



今年も元気にアピールするテツandトモさん



CMIはこちら

キャンペーンの
詳細はこちら徳島県
本部

「あきさかり」を買って徳島県の特産品が当たるキャンペーン

徳島県の奨励品種である「あきさかり」は、ほどよい粘りとほのかな甘みがあり、県内で生産拡大が期待されています。令和2年産から「無洗米あきさかり」も登場しました。両商品を購入後、添付されたシールから応募すると、抽選で100名様に徳島県の特産品が当たる「あきさかり新米キャンペーン」を実施しています。あきさかりはJAタウン「新鮮大好き徳島」でも販売しています。

キャンペーンの
詳細はこちら岐阜県
本部「ぎふの米」買って当てよう！
温泉旅行キャンペーンキャンペーンの
詳細はこちら

美しい清流、四季折々の変化に富んだ気候、そして肥沃な大地という豊かな自然の中で、丹精込めて丁寧に育てられた「ぎふの米」を、食べて知っていただくために新米キャンペーンを展開しています。県産の新米を購入後、はがきに応募シールを貼付し、アンケートなどに答えて応募すると、県内の温泉旅行が20組40名様に当たります。また、Wチャンスとして、イメージキャラクター「ぎふマイの里」のバラセットを3枚1組にして100名様にプレゼントします。

鳥取県
本部今年の星空舞CMは「望郷篇」と
「帰郷篇」の2本立て

新CMは現在流れている「望郷篇」と、今後放送予定の「帰郷篇」の2本立てになっています。コロナ禍で地元への帰省などが制限されている中、「星空舞」が家族への想いを伝えるきっかけの一つになればと制作しました。CM中に流れる楽曲を、2本とも鳥取県出身の映像クリエイター / ミュージシャンの山下歩氏が制作。ぜひ楽曲にも注目してください。

また、新米スタートに合わせ、鳥取県産「星空舞&きぬむすめ」新米キャンペーンを実施中です。今年は、鳥取県産松葉ガニを30名様、大山乳業アイスクリーム詰め合わせを100名様、合計130名様にプレゼントします。



CMIはこちら

キャンペーンの
詳細はこちら

商品開発、
コロナ禍関連に
注目

『JA全農ウィークリー』 掲載記事上半期アクセスランキング

広報・調査部は、令和2年度上半期(4～9月)に『JA全農ウィークリー』webで読まれた記事トップ10をまとめました(※)。新商品の開発や、新型コロナウイルスへの対応に関する記事のランクインが目立つ結果となりました。【広報・調査部】

上位3位は商品開発に関する記事が占めました。1位は、全国農協食品(株)が(株)大創産業(ダイソー)と共同開発する産地指定の国産果汁を使ったグミ、キャンディのシリーズを刷新したとのニュース。全農の新ブランド「ニッポンエール」シリーズとして一新し、100円ショップ「ダイソー」で販売を始めるなど、内容の詰まった記事でした。

2位は、全農の商品開発の中核となる営業開発部について、同部を率いる戸井和久チーフオフィサー(CO)と若手職員との座談会の記事です。他企業や産地と連携した商品開発のやりがいなどについて語っています。3位は(株)セブン-イレブン・ジャパンと国分グループ本社(株)と共同開発した、大分県

産の完熟かぼす果汁を使ったサワーを発売したニュースです。新型コロナウイルス関連の記事も注目を集めました。4、10位は、戸井COがコロナ禍で農産物流通がどう変化し、どう対応すべきかなどを記した連載です。7位の記事では、コロナ禍の影響を受ける農畜産物の需要喚起に向けた各県本部の取り組みをまとめました。

8位の「会津野菜館」は、JAと全農が全国で初めて共同で整備した野菜集出荷施設という話題性の高さが関心を集めたとみられます。

9位に入ったのは話題の農業関係書籍の著者インタビューです。こうした読み応えのあるコンテンツを引き続き積極的に掲載していきます。今後ともご期待ください。

※令和2年度の最初の発行号(4月6日号)がwebに掲載された4月4日から、上半期最終号(9月21日号)のweb掲載から一定期間を置いた10月15日までの期間に、各記事のページビュー数を集計。他媒体の記事を転載したものなど一部記事は集計対象外。

順位	記事タイトル	出稿元	掲載号	記事はこちら
1	国産果汁菓子シリーズをリニューアル	全国農協食品(株)	4月20日	
2	全農の戸井COと営業開発部の若手職員が座談会	営業開発部	9月7日	
3	「大分県産完熟かぼすサワー」を新発売	大分県本部、営業開発部	7月20日	
4	With／Afterコロナ時代の食と農 全農チーフオフィサー 戸井 和久 氏 ①	広報・調査部	6月22日	
5	ツマジロクサヨトウへの殺虫剤の効果を確認	営農・技術センター農業研究室、耕種資材部	6月1日	
6	新型コロナウイルス対策で 長澤会長がメッセージ	広報・調査部	6月8日	
7	今こそ広げよう。消費の輪 新型コロナ受け各地で需要喚起	新潟・大分・岩手・広島・秋田・岡山・千葉各県本部	4月27日	
8	野菜集出荷施設「会津野菜館」竣工式を開催	福島県本部	7月6日	
9	【インタビュー】新著『東大卒、農家の右腕になる。』著者・佐川友彦氏	広報・調査部	9月21日	
10	With／Afterコロナ時代の食と農 全農チーフオフィサー 戸井 和久 氏 ②	広報・調査部	6月29日	



高校生が米作りの腕を競う!

「お米甲子園」に特別協賛

全農は今月、静岡県小山町で開かれる「第11回 全国農業高校お米甲子園」に特別協賛します。【米穀生産集荷対策部】

この大会は、食・農の未来を担う高校生たちが、「日本のお米」に誇りを持ち、さらなる発展を目指してほしいとの思いから、米・食味鑑定士協会が主催しています。

高校生たちが育てたお米のおいしさを、穀粒判別器・食味分析計・味度計といった機械による鑑定と、人による官能検査で競います(今年度は無観客で開催)。全農は、最高位である「最高金賞」を獲得した高校に、副賞として「全農賞」を贈ります。

全農は、お米甲子園への協賛を通じて、未来の米作りを担う高校生を支援するとともに、消費者のお米への関心を高め、お米の消費拡大を図ります。



詳細は米・食味鑑定士協会
ホームページをご覧ください



全農 ZEN-NOH

COUNTDOWN JAPAN リスナープレゼント

11月7日放送のプレゼントは、山形県の「庄内柿」です。山形県庄内地方で栽培されている「庄内柿」には百年以上の歴史があり、庄内地方は柿栽培の北限と言われていいます。「庄内柿」は種が無いので食べやすく、「上品な甘さ」「歯ざわり」「舌触りの良さ」が特長です。庄内地方の秋の風物詩、ビタミンC豊富な庄内柿をぜひご賞味ください。

また、JAタウンギフトカード4500円分を1名様にプレゼントします。【広報・調査部】



応募は番組ホームページで受付中です。



応募締め切りは11月7日の放送でランキング1位の曲が発表されるまでです。

この商品はここからご購入いただけます。

JAタウン
ショップ名

小さなYAMAGATAマルシェ



JA全農のインターネットショッピングモール
JAタウン ショップ紹介

JA晴れの国岡山 星の郷特産館

紫苑は10月中下旬から収穫される、珍しい冬のブドウです。

ジューシーな果肉は、大粒でやわらかく、甘みと酸味のバランスが絶妙。種が無いので食べやすく、皮離れが良いのも特長です。

気品漂うワインレッドの美しい色と、房の形の良さから、贈り物としても重宝されています。岡山が誇る冬ブドウを、倉敷市船穂から皆さまの元へお届けします。



紫苑 2房(約1.4Kg以上)
……5700円(税込み)



ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはここから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは ☐ shop@ja-town1.com



『JA全農ウィークリー』の
ツイッターはここから



私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
になります。